

私どもは遷幸800年を機に「ごとばんさん」をさらに深め、次の100年へのバトンとしてつないでゆくべく、国内外の多様な方とのご縁を活かす場として「ごとばんさん芸術文化祭」をはじめます。この芸術文化祭の舞台の主役は、悠久の歴史を知っている空や海、土地そのもの、動物や植物、そして島とともに育まれてきた人々の営みとその背景にある価値観。さらに、そんな島を訪れる皆さん、お一人おひとりの「ごとばんさん」との出会いです。

この第1回ごとばんさん芸術文化祭に華を添えていただく「アーティスト」の皆さんには、これまで後鳥羽院顕彰事業、隱岐・海士町とご縁のあった方。等身大のカタチで「まず第一歩」とします！

コンセプトは「波を感じて、波を生む」

今回の芸術文化祭は、800年前の後鳥羽院の遷幸⇒現代につづく歴史・文化とその背景から受けるインスピレーション「波」を基に、未来へ届ける「波」を皆で生み出していく＆生まれる場となることを目指します。

その波を考える時のヒントの一つは後鳥羽院が隠岐で詠まれたとされる「歌」。隠岐の自然や人々の暮らしの中に、後世へ届けるべき「波」の素を見つけられたのかもしれません。隠岐という孤島には、ただ一人の人間（ひと）に還り、物事の本質を考える時間も流れています。

あなたが、この島の100年後に届けたいものはなんですか？



